

# 英語科学習指導案

日 時 平成22年11月17日(水) 5校時  
学 級 3年B組(男子18名 女子9名 計27名)  
指導者 上ノ山 雅恵

## 1 単元名 Multi Plus 4 ～わたしのスキット作り～

### 2 単元について

#### (1) 教材観

Multi Plus 4 は、3年間最後の Multi Plus として、スキットの創作を扱っている。直前の単元と直接の関連はないが、2学期終盤のこの時期に総まとめとして位置づけられており、4技能を使う総合的自己表現活動として設定されている。

「わたしのスキット作り」では絵を見て対話を完成し、話の続きを創作して表現することができるようになることを目標にしている。スキットの作品を通して、実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを理解し合えるよう、既習の語彙や文法を場面によって適切に使い分けることを実践的に学ぶのに適した教材である。

本教材に取り組むことで、身近な話題を扱うことから、親しみをもちつつも積極的に表現し、コミュニケーション能力高めることにつなげたいと考え、この単元を設定した。

#### (2) 生徒観

授業の取り組みの様子からみると、教師の指示や説明、学習内容に対する理解力が劣る生徒が若干いるものの、全体としては学習姿勢や理解力がおおむね良い。音読カードを用いて、毎日家庭で音読をしている。またワークなど英語を丁寧に書こうとする生徒が多い。読み取りにおいては、ある程度まとまった英文を読むことに意識して取り組んでいる。既習事項から内容をイメージしながら読むように読み進めているが、少しずつイメージをもつ生徒が増えてきている。しかし、授業における発言場面や発表場面において自分の意思や考えを伝えることを苦手としている生徒が多いため、Speaking Plus や暗唱させる機会を意図的に設けるなど発表する場面を多くしてきた。

#### (3) 指導観

本教材の「わたしのスキット作り」は4技能をバランスよく扱った単元であるとともに生徒自身の創作も入ることから、コミュニケーション能力の素地を築き意欲を高めることを目指していきたいと考える。

スキットの続きを作成することは、まずスキットの内容を理解する力とその状況をどのように発展させるかという創造的な力が求められる。故に本単元では4技能を意識し、自作のスキットを練習・発表する場面とそれぞれのスキットへのコメントを発表する場面を設けることで、場面をイメージする力や、感想を伝える力を養いたい。日常生活を含む今後のコミュニケーション能力の向上を目指し、自作スキットの発表という言語活動を通して、言語を用いてのコミュニケーションの重要性を理解させたい。また、全体の場で発表することによりさらに表現することへの抵抗感をなくしたい。

Dialog としてのスキットの続きを完成させることで、自分の意思を英語で伝えることへの意識を高めさせるとともに、場面に応じた適切な表現を用いることができるようにさせたい。

### 3 単元の見込み

#### (1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度

- ・テーマを設定し、スキットの内容を英語でまとめようとする。
- ・メモを取りながら、発表者のスキットを聞く。

#### (2) 表現の能力

- ・スキットの内容に合ったフレーズを考え、工夫して書くことができる。
- ・ペアで協力しながらスキットを発表することができる。

#### (3) 理解の能力

- ・モデルの文を読んで、その内容と文章構成が理解できる。
- ・場面に応じた表現を適切に使うことができる。

- (4) 言語や文化についての知識・理解  
 ・既習の言語の形や使用場面を理解し、適切に用いることができる。

#### 4 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①テーマを意識しながら、言語活動において自ら学び、選んだ表現を使っている。 ②発表内容への感想をメモしながら聞く。	①スキットの内容にあったフレーズで工夫して書くことができる。 ②ペアで協力しながら、適切な音量やスピードで発表することができる。	①モデル文の内容と文章構成を理解し、場面に応じた表現を適切に使うことができる。	①既習の言語の形や使用場面を理解し、適切に用いることができる。

#### 5 単元の指導計画（2時間扱い）

時間	学習内容	関連単元評価規準
第1時	Multi Plus4（私のスキットづくり①）	ア① イ① ウ①
第2時	Multi Plus4（私のスキットづくり②） 本時	ア② イ② エ①

#### 6 本時の指導

##### (1) 本時の目標

＜コミュニケーションへの関心・意欲・態度＞

- ・本時の学習課題を意識しながら、意欲的に暗記し、スキットを発表することができる。

＜表現の能力＞

- ・生徒オリジナルのスキットをペアで協力しながら相手に伝わる声で発表することができる。

##### (2) 表現を活かす場の設定について

- ・自信をもって発表するために、場面を意識しながらペアで練習することができる。
- ・場面が伝わるように発表時の音量やスピードを意識することができる。

##### (3) 具体的評価規準

	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する生徒への具体的な支援
関心・意欲・態度	課題に意欲的に取り組み、気持ちを込めて、その場面が伝わるように暗記して発表できる。	課題を理解し、原稿を見ないで発表できる。	つまづいている箇所や発表に向けての練習を促し、教師が支援する。
表現	自作のスキットを場面の様子が伝わるように暗記して発表することができる。	自作のスキットを最後まで適切な音量とスピードでみんなに聞こえるように発表することができる。	自作のスキットをペアで協力しながら発表することができるように支援する。

(4) 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	評価(○) 支援(*) 留意点(・)	備考
導入 5	1 あいさつ 2 warm up 音読	1 元気に挨拶する。 2 ミニ英会話	・机間指導しながらしっかり と音読しているか 観察する。	
展	3 学習課題の設定	3 今日の課題をつかむ。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>場面が伝わるように スキットを発表しよう</p> </div>				
開 40	4 オリジナルのスキットの完成  5 スキットの発表  6 感想発表	4 オリジナルのスキットを完成させ、その場面に沿った発表の練習をする。  <b>表現</b> 5 順番を決め、スキットを発表する。  ・他のスキット発表を聞いて感想を書く。  <b>表現</b> 6 それぞれの発表についての感想を発表する。	*スキットがしっかりと読めるように支援する。  ○聞き手に伝わる声でペアで協力しながら発表しているか。  ・きちんと記録しているかを確認する。  ○積極的に自分の考えを発表しようとしているか。	プリント辞書      プリント
終末 5	7 自己評価 8 次時の確認 9 英語の挨拶	7 本時の学習を振り返る。 8 次時の予告をする。 9 元気よく挨拶する。	○自己評価をする。	プリント